



わだつみ



久留米市立荘島小学校

校長

さあ、水泳学習に向けてみんなでお掃除！



6月14日に5・6年生がプール清掃をしてくれました。プール内だけでなく更衣室や通路、トイレまで細かく清掃し、1年間の汚れを丁寧に磨いて落としていきました。それを見ていた下級生が翌日「みんなのために頑張ってくれていたね。」「どんどんきれいになっていったね。」と言いに来てくれました。5・6年生の皆さん！全校のためにありがとう!!



今は、6月21日の「プール開き」に向け、プールに水を入れています。5・6年生がピッカピカにしてくれたきれいなプールで、子ども達が楽しくめいっぱい水泳学習してくれることを期待しています。尚、6月の授業参観では、「プール開き」の様子を見ていただく予定です。ご参観ください。
(ご案内状は5月に配布済)



落ち着いた雰囲気の中で

生徒指導サポーターの合原久美子様と坂井弘美様が学校周りの掃き掃除をしてくださっているのは、毎朝の定番風景となっています。そして、雨の日は登校してきた児童の背中(ランドセル)を自宅から持ってきたタオルでさっと拭いてくださります。ある時、「なぜ、進んで掃き掃除をやっているのか」と尋ねると、「校門前で私たち二人が立って待っていると、子ども達も緊張するでしょうし、何よりゴミや落ち葉が落ちていると何となく気持ちが悪くなるのです。とても気になるのです。」と答えてくださります。

私の経験では、学校の「荒れ」は次の3つの順に広がっていくように感じています。まず、「場が荒れる」ところから始まります。ゴミが各所に落ちている、靴やトイレのス

リッパがバラバラになる、教室の中が騒然となる…といった状況がこれに
あてはまります。

次の段階は「ことばが乱れる」状態です。「てめえ、ばかやろう」など言葉遣いが
きたない、場をわきまえた話し方ではない、人を傷つける言葉や侮辱する言葉が飛び交うな
どです。

最後は「行動が荒れる」状態です。授業妨害や他の児童や教師への暴力・暴言な
どです。

「荒れる」ことへの反対が「落ち着いている」状態なので、上記3つの逆を心がければ
「落ち着いた状態」といえるわけです。生徒指導サポーターのお二人がやってくださっ
ているのはまさに「場を整え」ようとしてくれているのです。

さらに、先日うれしい報告がありました。それは、「数名の子ども達と一緒に掃き掃除
の手伝いをしてくれましたよ。」と言うものでした。この子達のように、自分が生活する
環境を自らきれいにしようとする意識が、全校児童の中に広がってくれると嬉しいで
すね。子ども達には、落ち着いた環境の中で、落ち着いた気持ちで生活してほしいと
願っています。

読み聞かせボランティア様より心温まる時間の提供

心温まる思い入れのこもった読み聞かせは、子ども達
の感性を揺さぶる素敵な時間となっています。今年も
読み聞かせボランティアの方々が、一年間、さまざまな本
を選んできてくださり、子ども達の世界を広げてくださ
っています。笑えるもの、少し悲しいもの、はじめて知るも
の、空想(想像)の世界で遊ぶもの、ずっと昔のもの、
自分のことを振り返るもの、運動会前には、運動会がテ



ーマの絵本の読み聞かせと、、本当に様々。もちろん、日本の絵本だけでなく、海外の絵本もた
くさん紹介してさせていただきます。

やはり、読んでくださっている方の表情や生の声を感じながら、登場人物の気持ちを想像し
疑似体験している姿、本に見入りお話に聞き入る子ども達を見るととても嬉しくなります。本
好きな子ども達が増えていくことを願っています。

ボランティアの皆様、ありがとうございます。読み聞かせは心を育てます。子どもの感情を
豊かにします。感情豊かな人は相手の心の変化を感じる力を持ちます。周囲から愛される人
になっていくことでしょう。